

## 平成 31 年度 名古屋若松寮・はぐみ 事業計画 (案)

### 1. 事業運営基本計画 (事業目標)

- (1) 子どもたちの気持ちに寄り添い、安全で安心できる生活環境作りに努める。
- (2) 子どもの権利擁護に努めるとともに、自立に向けた支援を目指す。
- (3) 開設 2 年目となる小規模児童養護施設「はぐみ」の運営の基盤を確固たるものにする。
- (4) 家庭的な食環境の整備に努め、子どもたちの食育に繋げる。
- (5) 「新しい社会的養育ビジョン」の内容を受け、中長期計画を見直し、実践に繋げていく。

### 2. 具体的計画

- (1) 施設へ入所している子どもたちは、虐待や家庭での様々な事情により多くの傷を抱えています。子どもたちが抱えている様々なものを理解し寄り添いつつ、施設で安全・安心に生活が送れるよう職員間で連携を図り支援を行います。また、保護者への配慮も考えながら、ひとり一人の養育と発達成長を見守り、心理的な側面からも支援をしていきます。
- (2) 職員全体で統一した支援内容を検討し、子どもたちの意見も取り入れながら施設の生活が安心安全なものとなるように努め、権利擁護の推進に取り組みます。また、ルール等に縛られ過ぎず、家庭的な生活の中で自立支援を行い、社会性が身につくような体験や経験を積めるようにしていきます。そして、職員は、実践の中での O J T を中心に外部研修会や内部研修を通じて、質の向上を図り、倫理観や責任感を持った支援の充実を目指します。
- (3) 小規模児童養護施設「はぐみ」が開設 2 年目になるため、子どもたちがより家庭的な環境で安心して生活できる基盤作り、安定した職員体制、支援体制作りに努めます。また、近隣住民の方々と関係がさらに深まるように実践を積み上げます。
- (4) 回数は少ないが、各ユニットのキッチンで調理員や業務課職員が調理することが定着してきたため、今後は回数を増やしたり、業務課職員の調理内容のレベルアップを図ったりなどし、より家庭的な食環境にします。また、できるだけ子どもの意見も取り入れながら、食事のあり方や内容改善・食に関する興味や知識が学べるような実践を行い、子どもたちの食卓が心豊かになるように努めます。
- (5) 「新しい社会的養育ビジョン」の内容を受け、ユニット調理を基本とする体制作りや、各ユニットの定員を減らし、生活単位の少人数化など、中長期計画を見直し、今後の方向性を検討し、実践に繋げていきます。